

私の故郷

キンキン

皆さん、こんにちは。今日は私の故郷である天津についてお話ししたいと思います。よろしくお願ひします。

天津は中国北部にある沿海都市で、首都北京からわずか120キロメートルのところにあります。都市間高速鉄道に乗れば、北京から天津まで30分しかかかりません。天津の名の由来という、「天」は「天子」の意で、「津」は「港」という意味です。「天津」は「天子の港」、「天子の渡し場」という意味から名づけられたのです。

まず、天津の観光名所についてお話しします。お勧めしたいところは古文化街と天津タワーです。古文化街は全長680メートルで、その両側には昔の建物の様式をまねて作られた店がたくさんあります。切り紙、お正月に飾る絵などの民俗工芸品や刺繍、骨董を売っている店もあれば、旗袍（チーパオ）、いわゆるチャイナドレスのような伝統的な衣装を売っている店もあります。また、古文化街にある天津民俗博物館は天津の文化を知るのに一番いいところだと思います。天津タワーは高さが415.2メートルで、248メートルから278メートルのところに展望台と回転レストランがあります。回転レストランは45分かけて一周回り、おいしい料理を食べながら、天津の全景を見ることができます。特に、夜になって明かりが輝く時、眺めがもっときれいになります。

次に、天津の食べ物をご紹介します。天津のおいしい食べ物は数え切れないほど多いです。そのうち、よく知られているのは「狗不理（ゴブリ）肉まんじゅう」、「十八街麻花（ma hua）」と「耳朵眼（er duo yan)炸糕（zha gao）」です。メニューで「狗不理」という漢字を見て、「犬でさえ見向きもしないのに、この肉まんじゅう、おいしい？別のものにしようか」と思う人がいるかもしれません。実は「狗不理（ゴブリ）肉まんじゅう」は食べないと損だと言えるほどの美味です。「麻花」はお菓子の一種で小麦粉を練ってから捻って油で揚げ、砂糖を振り掛けたものです。お土産としてそれを贈る人が多いです。「炸糕」はもち米の皮に小豆の餡を入れてごま油で揚げたものです。口触りは柔らかくておいしいです。

最後に、一つのアドバイスがあります。天津市内で観光したりする時、バスを使う機会が多いです。ワンマンバスなので、一元の小銭を準備しておいたほうがいいです。

天津は現代的な都市であると同時に、伝統的な雰囲気も感じられるところです。中国で

旅行するなら、ぜひ天津へいらっしゃってください。その時、ご案内します。

天津についての紹介は以上です。ご清聴ありがとうございました。では、ご質問をよろしくお願ひします。